

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-247-6781

年度	平成27年度		
施設名	新潟市若者支援センター	所管部・課	教育委員会 地域教育推進課
施設の設置目的	若者に交流及び研修の場を提供し、並びにすべての若者の健やかな成長を支援することにより、若者の社会的自立・職業的自立を動機付け、及び社会参加・社会参画の推進に資する		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H27.6.4
歳入	0	正職員	2	修正日	
歳出	7,411	非常勤	8	評価日	H27.5.25

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標					H27結果
1	市民	困難を抱える若者やその保護者、関係者の相談を受け、適切な機関に繋がります。	相談受付数(件数)	219	398	486	500	502			B:達成	
2	市民	若者が困難さを克服し、自信を回復するための支援講座を開設します。	若者自立支援事業等延参加者数(人)	855	1,194	1,480	1,500	1,068	前年度2%増に目標を設定した理由ですが、利用者に発達障がい特性等が見られ、事業参加以前の支援が必要となり、事業参加率が低下しました。	若者自立支援事業(自信を育てる講座、ユースクッキング、のんびり田舎暮らし、行商他)	事業見直しによる事業数の減少 ・精神疾患・発達障がいの特性を持つ利用者の増加 ・上記理由による若者自主企画事業、朝活の中止による	C:未達成
3	市民	若者支援センターの認知度を高め、利用者の促進を図ります。	HPアクセス数(件)	6,198	7,544	5,547	5,824	4,883	前年度5%増の目標を設定しました。		市内3高等学校へは周知が進んでいるが、市内県立高等学校への周知が図られなかった。今後、高校生へのリーフレット配布など周知を拡大していきます。	C:未達成
4	市民	多様化する相談内容や居場所に居る様々な若者に対応するため研修を行います。	研修会延参加者数(人)	85	128	112	129	153	ユースアドバイザー委嘱人数36名で、研修参加率90%を目標に設定しました。	小グループ意見交換会を開催した		A:達成(優)
5												
6												
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>相談者との面談から、抱える困難の課題を整理し、支援目標・支援内容を設定して、課題解決に適切な期間につき、または、ユースアドバイザー、関係支援機関と連携して居場所です自立支援を行います。</p> <p>支援事業では、若者自身の自己肯定感を高め、社会的自立、職業的自立に向けたプログラムを実施します。広報については、若者に役立ち、見やすく理解しやすい内容が提供できるようにホームページの充実にも努めます。</p> <p>研修会については、専門家講師を招き若者の生き方、抱える悩みなどを聴いて、対応策の検討などグループワークなど織り込みながら協議し、ユースアドバイザーの資質を向上を図る場を提供します。</p>	<p>相談者に対する支援結果は、支援総数145名に対し、リファー数、支援終結、居場所の継続支援・協働支援終了者数の割合は72.4%で、平成26年度の支援総数134名、終了等の割合は70.1%と前年度を上回った。相談の仕方として、相談室ではなく、若者がリラックスして話ができるオープンな居場所を使ったプッチ面接を受付相談数も16件前年を上回っています。</p> <p>自立支援事業では、地域団体と連携した「田舎暮らし体験」「行商体験」や、コミュニケーションの力を付けるための話し合い活動「朝活」、「就活」へのモチベーションを高めるために若者語り場「じよぶとーく」等11事業を開き427名の参加がありました。若者交流事業他10事業も行いました。事業は、講座で得た知識を体験する場として、相談・事業の連携により行われ、支援の体験・自信の回復に役立っています。</p> <p>研修会は、ユースアドバイザー運営委員会と協働しておこなっています。年間研修計画を立て、ユースアドバイザーが現実抱える悩みや迷いをベースに、研修テーマ、研修内容、時には講師の決定など行っています。当日の運営は運営委員会が行います。年間4回開催しました。</p>